



ハテマロ会設立 10 周年記念 日本・ネパール国交樹立 60 周年記念 ネパール大地震一周年を思う

ハテマロ会
हातेमालो समाज



HATEMALO SOCIETY

「復興支援上映会」

報告書



日 時: 2016 年 4 月 23 日(土)～2016 年 5 月 8 日(日)
会 場: 渋谷ユーロライブ(渋谷区円山町 1-5 KINOHAUS 2F)
主 催: ハテマロ会
後 援: 駐日ネパール連邦民主共和国大使館; 日本・ネパール会; 公益社団法人
日本ネパール協会; 公益社団法人 日本山岳会; 伊藤敏朗監督
協 賛: 習志野外国語学院

報告書作成者: シュレスタ・ラジブ

報告書作成日: 2016 年 7 月 22 日

「復興支援上映会」開催チーム

担当: 小島佳子、Suraj Pradhan、Rajeeb Shrestha

応援: 山上亜紀、高柳治信、Gautam Maharjan、Prachanda M. Bajracharya、Sukuman T. Tamang、Deep R. Shakya、ハテマロ会理事会の皆さん

指導助言: 伊藤敏明先生(東京情報大学教授)、菊池貞介先生(千葉県立八千代高等学校)、

協力: Sashi R. Tandukar、Mohan Maharjan

問合せ先: 〒273-0016 千葉県千葉市稲毛区天台2丁目2番1棟301号室

TEL: 090-6302-9151(ラジブ) URL: <http://www.hatemalo.org/> Email: hatemalosociety@yahoo.co.jp

「復興支援上映会」の概要

昨年4月25日に、ネパールを襲った巨大地震によって、同国は甚大な被害を受けました。伊藤監督も日本の支援者たちと共に救援・支援活動にあたり、さらにご自身の監督したネパール映画『カタプタリ〜風の村の伝説〜』は、日本全国でチャリティー上映会を重ねて来られました。その中で伊藤監督の第二作であるネパールの文豪・パリジャート女史の小説『シリスコフル』を原作とするネパール映画(邦題『カトマンズに散る花』)も、ぜひ日本で公開できないかとの声が高まりました。しかし、これまで日本公開は予定されておらず、日本語字幕もありませんでした。早急に日本語字幕の作成が着手され、2016年4月25日のネパール大震災1周年にあわせた復興支援上映会の開催が決定したのです。この映画には、ネパール文化の神髄が描かれており、また昨年の大震災で大きな被害を受ける前の美しいカトマンズの姿が焼き付けられています。監督は、ネパール映画監督協会所属の唯一の外国人監督である伊藤敏朗 東京情報大学教授・博士(芸術学)です。

その上映会の主催はハテマロ会に任せられました。ハテマロ会は今年4月24日で設立後10年を迎えました。また、今年はネパール・日本国交樹立60周年にあたるので、これだけの重要な時期に本作品が日本で公開されることは、両国の文化交流のうえで大きな意義があるものと考えます。

さらに、この上映会はネパール大地震一周年にあたって実施される復興支援上映会であり、収益の全額が、バネパのマハデヴ寺院の再建を含む震災被災地域の文化財の再建や被災者の方々に笑顔を届けるプロジェクトなどに供されることとなりました。また、あいにく日本でも今年4月14日に発生しました熊本・大分大震災に向けて恩返しにできることをしたいと皆さんの気持ちが一つになり上映会会場では募金箱を設置し、上映期間中募金をしました。その半額をネパールで、半額を熊本・大分大震災支援に充てることになりました。

上映期日: 2016年4月23日(土)~5月8日(日)

詳細は http://film-creation-nepal.com/shirish/shirish_screening.html

上映会場: 渋谷・ユーロライブ (渋谷駅下車、Bunkamura 前交差点左折)

渋谷区円山町 1-5 KINOHAUS 2F/ ユーロスペース内

<http://eurolive.jp/>

入場料: 【一般 1,800 円】【学生 1,500 円】【中学生以下 1,200 円】【65 歳以上 1,200 円】

【協賛チラシ持参の方 1000 円】

※有料入場者一人当たり 500 円ハテマロ会に寄付されることとなりました。

「復興支援上映会」

ハテマロ会の主催で2016年4月23日（土）から5月8日（日）までに東京都渋谷区所在の渋谷・ユーロライブにて「復興支援上映会」が開催されました。2週間も続いた今回のイベントは多くの方々よりご協力をいただき、盛大にイベントが完了しました。その一連のイベントの写真報告を致します。

❁オープニングセレモニー(2016年4月23日)

在日ネパール国臨時大使ガヘンドラ・ラジバンダリ閣下のご出席の下、復興支援上映会のオープニングセレモニーが実施されました。

◎会場の様子(2016年4月23日)



◎物販の様子(2016年4月23日)



◎活動紹介展示(2016年4月23日から5月8日まで)



◎懇親会の様子(2016年4月23日)



♣ネパール大震災から一周年黙祷(2016年4月25日)



♣後日の物販の様子(2016年5月7日)



上記のように 2016 年 4 月 23 日のオープンセレモニー以降 5 月 8 日まで継続的に毎日上映会が実施されました。ハテマロ会の物販は 4 月 23 日+24 日+29 日+30 日+5 月 1 日+3 日+4 日+5 日+7 日+8 日のみ実施されました。

❁会計報告

◎収入の部

- ・入場者：総計約 1200 人（内、ちらし及び当日券入場者数 396 名）
- ・ハテマロ会販売前売り券収入：231 枚＝231000 円
- ・有料入場者 396 名：396×500＝198,000 円
- ・物販⇒総売り上げ：208,600 円→内純利益＝130,208 円
- ・募金：104,366 円（募金箱）＋清野良一様よりネパール支援指定＝31000 円
- ・マハデヴ寺院：2 人 10000 円（会場にて、スンドリみか氏、深見ともみ氏出資）
（その他、賛同して連絡先を書いてくれた方 5, 6 人）

◎収入合計：755,746 円

◎支出：20,869 円（詳細は収支報告書参照）

※ 収入の内、募金（104,366 円）と物販売上（130,208 円）＝234,574 円は、熊本・大分大震災への支援の対象になります。計算上 117,287 円になりますが、熊本県 7 万円、大分県 5 万円を寄付することになりました。

謝辞

このような歴史的な時期に「復興支援上映会」を主催する機会をいただき、東京情報大学教授伊藤敏朗先生に厚く御礼を申し上げます。そして、日本のゴールデンウィークのような貴重な休暇を上映会のために費やしていただき小島佳子先生にも心より感謝致します。そして、それぞれの貴重なお時間を上映会の運営、物販の手伝い、撮影会の手伝いのために充てていただきましたボランティアの皆様にも心より敬意を表します。併せて、ハテマロ会をいつも応援し、映画を鑑賞していただきました皆様に、重ねて感謝の意を表します。2 週間の長いプログラムではありましたが、無事に終了できたのは皆様のおかげです。今後ともご協力ご指導を賜りますようよろしくお願い致します。